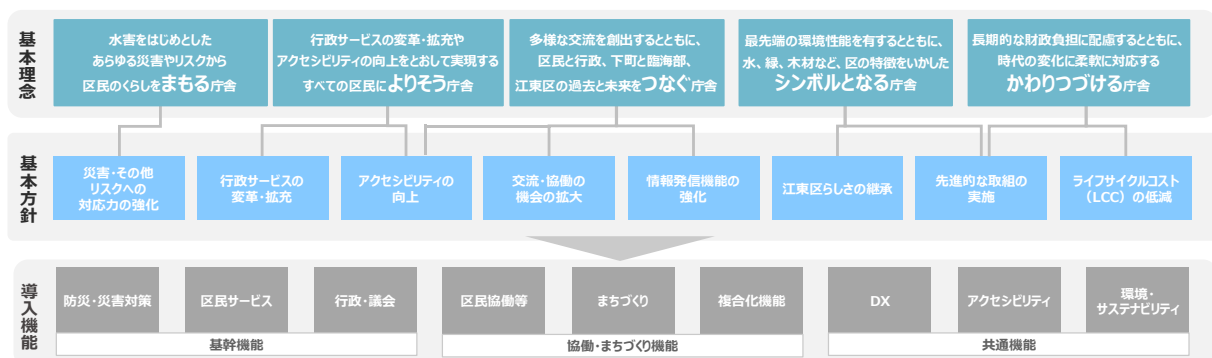


新庁舎建設基本構想における留意事項について

基本構想策定会議の議論、区民アンケート、区民ワークショップ、こどもグループインタビュー及び庁内プロジェクトチーム等の取組における意見をもとに令和 7 年 3 月に「新庁舎建設基本構想」を策定した。

1 新庁舎建設基本構想の概要

- ・新庁舎は現在の位置で整備する。
(防災センター、文化センター敷地を含め一体的な整備を前提)
- ・約 40,000 m²を基本的な新庁舎の規模として想定した。
- ・令和 7 年 3 月時点の想定 of 概算事業費は約 690 億円（防災センター、文化センターの一体的な整備を含む）
- ・他の公共施設との複合化について今後整理することとした。
- ・基本理念、基本方針と 9 つの導入機能を定めた。



2 今後の検討における留意点

今後の具体的な検討の中で、新庁舎の規模を確定していくにあたって想定する留意点は以下のとおり

(1) 区民サービスのさらなる充実

- ・区民ニーズの高度化、多様化によりこれまで庁舎に不足していた機能を新たに設けることも検討する。

(2) まちづくりにおける拠点機能の充実

- ・地下鉄 8 号線延伸も含めた周辺のまちづくりと連携した新たな拠点としての機能を検討する。

(3) 防災機能の強化

- ・防災機能の強化において施設の配置や低層部施設の機能導入へのあり方等について検討する。

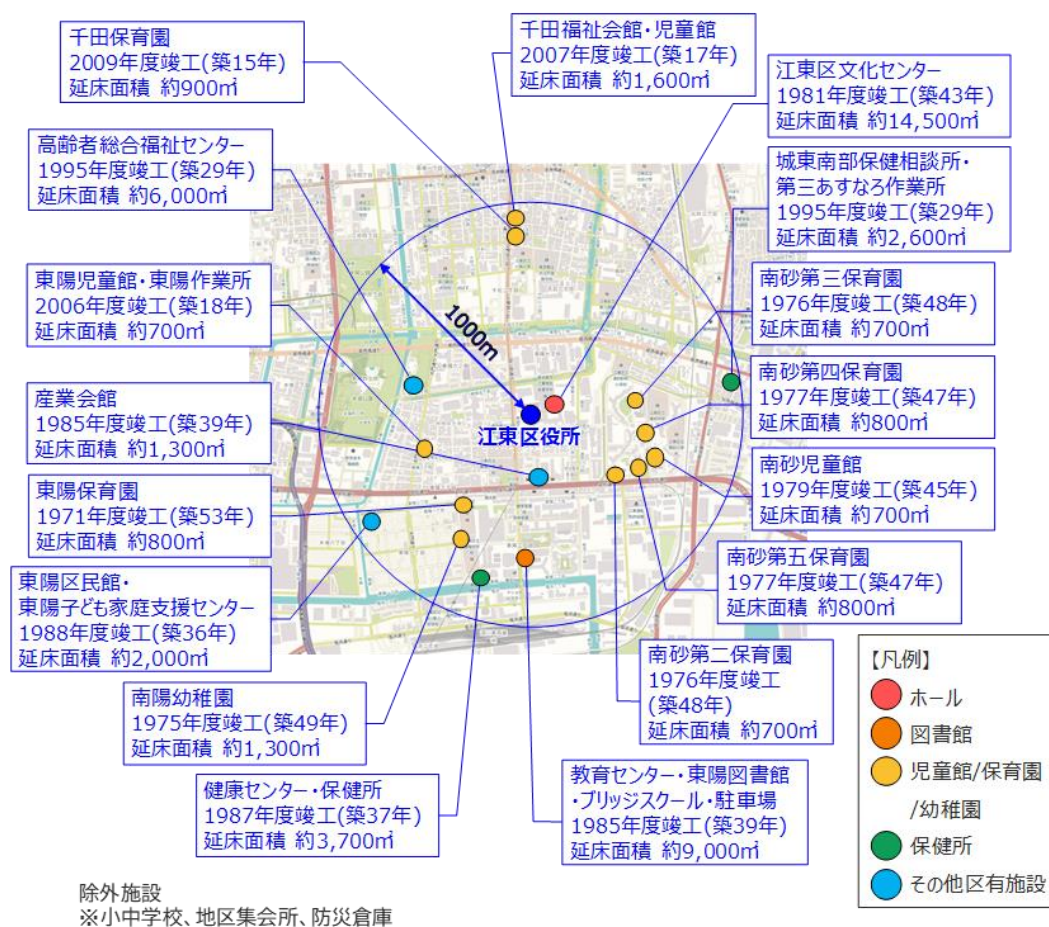
(4) D Xの推進

- ・D X推進により実現する取組に伴う新庁舎規模への影響について検討する。

(5) 複合化

- ・一定の余剰容積、余剰地等が生じる場合、公共機能のほか来庁者の利便機能との複合化についても検討する。

現庁舎敷地周辺の公共施設の立地状況



江東区新庁舎建設基本構想 P.45 より